

本市提案の国際協力事業が2件採択されました

＝事業費計 約1億1,500万円、複数案件採択は本市のみ＝

このたび、本市が提案した「プノンペン都廃棄物管理改善事業」と「ハイフォン市下水処理場運転管理・浸水対応能力向上プロジェクト」の2件が、JICA 草の根技術協力事業（地域活性化特別枠）に採択されました。

今後約3年間で、JICAからの委託契約金額（2件計 約1億1,500万円）を活用し、現地におけるプロジェクトをはじめ、現地の行政職員等を対象とした技術指導や訪日研修等を実施する予定です。

◇プノンペン都廃棄物管理改善事業（カンボジア）



事業概要：本事業では、現地モデル地区での課題改善やプノンペン都関係機関職員の廃棄物管理能力研修を通し、排出から最終処分までの一連の廃棄物管理システムをプノンペン都において機能させることを目標とします。（別紙1）

◇ハイフォン市下水処理場運転管理・浸水対応能力向上プロジェクト（ベトナム）



事業概要：本事業では、ハイフォン市初の下水処理場の効率的な運転管理の実現と市民と行政が一体となった浸水対応の意識向上を図ることを目標とします。（別紙2）

※今回の「平成29年度予算 JICA 草の根技術協力事業（地域活性化特別枠）」に、複数案件が採択された自治体は北九州市のみ。（応募総数24件、うち採択8件）

JICA 草の根技術協力事業（地域活性化特別枠）について

JICA 草の根技術協力事業（地域活性化特別枠）は地方自治体が主体となり、地域企業等の有する技術・経験を活用して、開発途上地域に貢献することを支援すると共に、開発途上国の様々な需要・ニーズを日本各地のリソースと積極的に結びつけ、国際化を支援することによって、地域の活性化を促進することを目的としています。

（JICA ホームページ <https://www.jica.go.jp/partner/kusanone/what/chiikikeizai.html>）

【お問い合わせ先】

プノンペン都廃棄物管理改善事業（カンボジア）について

北九州市環境局環境国際戦略課アジア低炭素化センター（TEL：093-662-4020）

課長：榎山、係長：加藤

ハイフォン市下水処理場運転管理・浸水対応能力向上プロジェクト（ベトナム）について

北九州市上下水道局海外事業課（TEL：093-582-2012）

課長：神野、係長：草野

プノンペン都廃棄物管理改善事業（カンボジア） “「オール北九州」で姉妹都市プノンペンの廃棄物処理を支援”

- 本事業は、（公財）北九州国際技術協力協会、（公財）北九州市環境整備協会、ひびき灘開発（株）などの市内関連団体とともに「オール北九州」体制で、プノンペン都の廃棄物処理システムの改善を支援します。
- プノンペン都との姉妹都市締結（2016年3月）の際の廃棄物分野に関する協力要請を契機に、現地の状況調査や現地当局との意見交換等を経て、今回の JICA 草の根技術協力事業（地域活性化特別枠）の申請・採択に至りました。

1 背景

北九州市と姉妹都市であるプノンペン都は人口 180 万人を擁するカンボジアの首都で同国最大の都市です。人口増加率も依然高い水準にあり、2030 年には 240 万人に達すると試算されています。このような人口増加及び毎年 7%前後の高い経済成長に伴い、プノンペン都の廃棄物発生量は近年急増しており、都の抱える大きな課題の一つとなっています。

2 事業内容

① モデル地区における廃棄物処理改善モデルの策定

⇒ プノンペン都内に 2 か所のモデル地区を設定し、地区内でのゴミ収集・運搬、家庭ごみの減量化・リサイクル等に関する課題改善を推進するとともに、他地区への普及を目指す。

② 最終処分場の適正運営に関する技術指導

⇒ 現地行政職員に対して最終処分場運営に関する技術指導を行う。また、更なるゴミの減量化に向け、コンポスト生産の仕組みを構築するとともに、中間処理施設の機能や必要性について啓発を行う。



現地 行政機関との協議の様子



現地 最終処分場の状況

3 事業期間 3年間（平成30年1月～平成32年12月（予定））

4 事業費 約6,000万円

5 実施体制 日本国：北九州市環境局、（公財）北九州国際技術協力協会、（公財）北九州市環境整備協会、ひびき灘開発（株）、（株）エックス都市研究所
カンボジア国：プノンペン都、CINTRI 社、現地 NGO 等

ハイフォン市下水処理場運転管理・浸水対応能力向上プロジェクト（ベトナム）

“ハイフォン市における下水道分野の「JICA 草の根技術協力事業」が3度目の採択”

- 本事業は、ハイフォン市との下水道技術交流の集大成として、北九州市海外水ビジネス推進協議会（以下、KOWBA）会員企業と連携して「ハイフォン市初の下水処理場（平成29年12月完成予定）運転管理の能力向上支援」や「市民と行政が連携して実施する浸水対策訓練の支援」などを行うものです。
- また、下水道事業を次の100年へ繋げていくため、本事業を活用し、本市職員の技術力向上や海外水ビジネスの更なる展開を目指します。

1 背景

北九州市と姉妹都市であるハイフォン市は、人口約190万人（ベトナム第3位）を擁するベトナム北部の経済圏を支える港湾都市として、発展を続けています。一方、急速な発展により、公共水域の水質悪化や頻発する浸水被害が課題となっています。

本事業では、課題解決に向け、下水処理場の運転管理の能力向上支援や浸水被害の軽減を図る浸水対策訓練を実施します。

2 事業内容

① 下水処理場運転管理の能力向上支援

⇒ KOWBA会員企業と連携して、施設運転や水質管理を現地指導や国内研修を実施。運転管理マニュアルの作成と運用を支援。

② 市民と行政が同時に参加する浸水対策訓練実施の支援

⇒ 下水道台帳システム※を用いて、浸水履歴図を作成し、これを活用して土のう設置や小型ポンプの運転訓練等を実施。

※ 本市企業と本市が連携してシステムを構築中。平成29年12月完成予定



下水処理場運転能力向上
支援イメージ



浸水対策訓練イメージ



浸水履歴図イメージ

3 事業期間 3年間（平成30年1月～平成32年12月（予定））

4 事業費 約5,500万円

5 実施体制 日本国：北九州市上下水道局、KOWBA会員企業
ベトナム国：ハイフォン下水道排水公社（SADCO）

※ - ハイフォン市が100%出資する公社。

- ハイフォン市中心部の下水道施設の維持管理を実施。

- 2010年に上下水道局と下水道技術協力の覚書を締結。

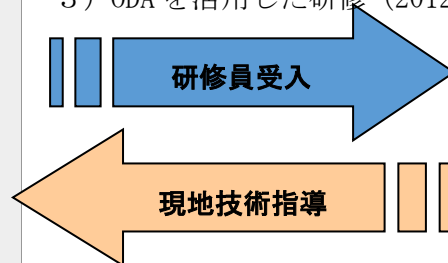
6 ハイフォン市との下水道技術交流について

| | |
|----------|--|
| 2009. 4 | 北九州市とハイフォン市が友好都市協定を締結。 |
| 2010. 11 | ハイフォン市への下水道技術協力をスタート。SADCO と覚書締結（4年間） |
| 2012. 5 | 「下水道事業推進のための人材育成支援事業」（JICA 草の根 1 期目） |
| ～ | - 現地技術指導 （ポンプ場維持管理ガイドライン作成、環境教育、下水道台帳モデル事例作成など） |
| 2014. 3 | - 研修員受入 など |
| 2014. 4 | 北九州市とハイフォン市が姉妹都市協定を締結。 |
| 2014. 10 | SADCO との覚書を更新（無期限） |
| 2014. 11 | 「ハイフォン市下水道維持管理能力向上プロジェクト」（JICA 草の根 2 期目） |
| ～ | - 現地技術指導 （下水管路維持管理マニュアル作成、市民啓発活動、管路カメラ調査の実践など） |
| 2017. 3 | - 研修員受入 など |
| 2017. 10 | 下水処理場の運転支援と浸水対策に関する新規草の根事業が採択 |

□65名のハイフォン下水道関係者が北九州市で研修



- | | |
|------------------------------|--------|
| 1) JICA 経営研修（2010～17） | 7回、14名 |
| 2) CLAIR・JICA 研修（2011～16） | 6回、19名 |
| 3) ODA を活用した研修（2012, 16, 17） | 3回、32名 |



□延べ139名の北九州市職員、専門家をハイフォン市に派遣

<アウトプット>

- ・ポンプ場維持管理ガイドライン作成
- ・中学校での啓発活動の実践
- ・下水道管路マニュアルの作成
- ・市民啓発活動の実践
- ・セミナーの開催 など

